

一編集後記一

今年はオリンピックそしてワールドカップとスポーツの世界大会が目白押しです。長野オリンピックでは日本人選手の活躍が目立ちましたが、ソルトレックでは今ひとつとつ元気がありません。サッカーの日本代表もホームではいい成績を残していますが、アウェイではいまひとつです。この現象は日本人選手に限らず、どこの国の選手にも当てはまるような気がします。やはり勝手を知ったところでの戦いには有利な面があります。日本の土壌物理研究者が世界で競争しようとしたら、競技場は欧米諸国となってしまいます。競技場の場所なんて関係ないというツワモノの会員の方もいらっしゃると思いますが、やはり自分達に少しでも有利な環境で競争できることに越したことはありません。このような場があれば、会員

の優れた成果がもっと世界に発信されるはずですが、「土壌の物理性」が世界大会の一会場になるのが理想ですが、そのためには英文での投稿の増加が条件です。この問題の対応策として、気楽に英文で投稿できるような支援システムを学会に構築することがあげられます。基本的には個人の努力によるところが一番大きいのですが、その努力に対する支援も大事だと思います。この他にもいろんな対応策があると思います。学会の国際化に向けてどんなことをしなければいけないのか会員の方々のご意見をお聞かせください。

(内容が前号の宮崎会長の巻頭言と一部かぶってしまいました。すみません。)

<編集委員 花山 奨 (山形大学農学部)>

土壌物理学会

事務局構成	会 長	宮崎 毅 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	副 会 長	岡崎 正規 (東京農工大学大学院)
	庶務幹事	溝口 勝 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	会計幹事	井本 博美 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	編集幹事	関 勝寿 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	会計監査	加藤 誠 (東京農工大学農学部)
	”	金子 文宜 (千葉県農業試験場)
編集委員会	委 員 長	粕淵 辰昭 (山形大学農学部)
	委 員	古賀 潔 (岩手大学農学部)
		藤井 克己 (岩手大学農学部)
		佐藤 照男 (秋田県立大学短期大学部)
		粟生田忠雄 (新潟大学農学部)
		足立一日出 (独立行政法人農業技術研究機構)
		吉田修一郎 (独立行政法人農業技術研究機構)
		安中 武幸 (山形大学農学部)
		花山 奨 (山形大学農学部)
	南條 正己 (東北大学農学部)	

土壌の物理性 第89号 (会員配布) 2002年1月15日発行

発行 土 壌 物 理 学 会

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院 農学生命科学研究科

生物・環境工学専攻 環境地水学研究室内

電 話 03-5841-5351, 5374 FAX 03-5841-8171

E-mail : sp-staff@soil.en.a.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://soil.en.a.u-tokyo.ac.jp/jssp/>

銀行口座 第一勧業銀行 本郷支店

普通 2407673 土壌物理学会 代表 宮崎 毅

印 刷 創文印刷工業株式会社

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16